

膳所市民ニュース

発行 膳所学区自治連合会
編集 膳所市民ニュース編集委員会
編集委員 膳所市民センター内
TEL. 524-2205
印刷 マルキ印刷株式会社

学区内の世帯数・人口	平成27年8月1日現在
世帯数	7,352
人口	7,618
男女計	8,391
	16,009



膳所学区シンボルマーク



酷暑去り 花火で終わる 膳所の夏

7月5日(日)、琵琶湖を美しくする市民運動市民清掃が学区内の各地域で「学区実施計画」に基づいて予定どおり実施されました。

琵琶湖の美しさを守るため、一人一人の心づかいと地道な清掃活動により、琵琶湖の環境保全に大きな成果を上げて参りました。

当日は梅雨の合間のお天気で、雨も上がり、早朝より多くの学区民の皆さんが、自宅の周

琵琶湖を美しくする運動 「第50回琵琶湖市民清掃」の実施

辺や、公共の場の草引きや、河川のゴミ拾いに汗を流して、約2時間程度で清掃は完了しました。

今年の参加者は、2,846名(前年度と同程度)を数え、中には小中学生並びに高校生の参加も見られました。ゴミの収集は、天候にも恵まれ、清掃活動はかどど、約2,750袋が集められ、住民間のコミュニケーションも図られました。

今年のゴミの分別は、①草、



後列左から3番目 熊川自治会長

ごみ減量と資源再利用推進賞の表彰

5月30日(土)、午後2時50分より大津市生涯学習センターホールにおいて、平成27年度ごみ減量と資源再利用推進表彰式が開催されました。市全体で10学区に表彰状が贈られ、膳所学区から桜馬場自治会(熊川建一自治会長)が受賞されました。

表彰はごみ減量と資源再利用推進会議内田一豊会長から個人、団体の方々に、多年にわたる活動と、その功績が特に顕著であり模範とするところであるとして表彰があり、桜馬場自治会のさくら福祉の会・子ども会の優れた活動が対象となり、このたび受賞されました。誠にありがとうございました。

自主防災会活動方針決まる

平成27年度膳所学区自主防災会総会が7月22日(水)膳所市民センターで開催されました。

総会では自主防災会の27年度活動方針について活発な討議がされました。本年度活動方針では膳所学区62自治会の内42自治会が自主防災会を立ち上げ設立されています。本年度は全自治会の防災会の立ち上げの実施100%の実現を目指してあります。一昨年の9月16日未明に発生した台風18号の河川等の被害の教訓から学んだ事を生かし危険場所の調査の実施をいたします。防火防災訓練各自意識の啓発・防災講座・独居



質問の答える山田会長

- 顧問 原田 重雄
- 会長 山田 徹
- 副会長 中塚 通
- 監事 佐曾羅茂子
- 事務局長 山本 満夫
- 事務局員 中井 良次
- 会 計 水野 文昭
- 情報部長 田村 治郎
- 消防部長 堀池 清典
- 救出救護部長 国松 武
- 給食給水部長 吉田 英夫
- 澤 弘宣

最後に原田自治連合会長より「今年も事故も命作業に当たってくれたことは本当に嬉しく思っております」と感謝を述べられ市民清掃が終了しました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

しかし大きな災害が発生すると道路の寸断や同時多発火災など被害は多種多様にわたり関係機関の活動だけでは十分な対応が出来なくなる事も考えられます。そんな時こそ自助・共助・公助そして近所の精神で隣近所の人達が結集し、お互いが協力し合った防災活動や人命救助等に組織的に取り組む事が大きな力となると考えられます。

平成27年度の役員は次の通りです。



木下町公園

裏袋に入れ搬入してほしいとのことでした。ゴミの収集は、今年も区内業者の方々の協力により提供いただいたトラック11台に、自治連合会の理事等が同乗し、決められたコースで収集しました。



坊主町付近

最後に原田自治連合会長より「今年も事故も命作業に当たってくれたことは本当に嬉しく思っております」と感謝を述べられ市民清掃が終了しました。ご協力いただき誠にありがとうございました。



南消防署 水田署長